

# 一関工業高等学校土木科1・2年生による沿岸部現地調査

～ 災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり ～

大船渡土木センター

一関工業高等学校においては、授業の一環として工事現場等の現地調査を実施しています。昨年度は震災の影響で中止となりましたが、今年度は当センター管内の現場を視察していただきました。

同校土木科の1・2年生が高田地区海岸、三陸沿岸道路（高田道路） 大船渡港の現地を視察し、担当者の説明を熱心に聞き入っていました。視察後の質問では、こちらの担当者を驚かせるような鋭い質問もありました。

最後に、生徒の代表からお礼の言葉をいただきました。こちらからも技術者不足が叫ばれる中、将来の土木技術者として復旧・復興に携わって欲しい旨をお願いしました。



陸前高田市災害復興局臼澤局長補佐の説明



1・2年生で総勢約60名の方が視察しました



大阪府からの応援職員である大船渡土木センター笹本技師の説明



松原が流失し、今は仮防潮堤だけがある状況



三陸沿岸道路（高田道路）では、南三陸国道事務所の方が説明



熱心に聞いています。土木にも女性が多くなりました



最初は緊張して出なかった質問も徐々にできるようになりました



大船渡港の説明です



最後に生徒の代表の方からお礼の言葉をいただきました

高田地区海岸の概要など大船渡土木センターの震災復興情報についてはこちら

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4521&ik=3&pnp=17&pnp=77&pnp=1395&pnp=4521>